

田中十彌 志願歌人。文政九年五月二日武藏國秩父郡下吉田村生れ、

明治三十二年十一月二十日没（八十六）。諱義村、幼名仙之助。號

曾祖家、椋蔭。曾根中位、高田永世の曾孫。明治七年教導職を拜命。

二十六年椋神社社司兼貴布瀨神社社掌。詩文、俳諧、殊に和歌を能く

し、二十三年正月の歌進歌合は上席に選ばれた。また數々の手記を遺

し、中には「秩父事件雜録」は自由民權運動史料として貴重。その餘

り雜録をも併せし収録した。『田中十彌日記』（昭和四十二年二月二十

日、のち四十七年五月二十一日發）・吉田町教育委員会（）がある。

